

情 報 公 開 文 書

研究の名称	血流感染症において、感染症科および抗菌薬適正使用支援チームによる活動が治療経過、予後、治療費に与える影響の検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	感染症学講座 山本 善裕
研究の概要	<p>【研究対象者】 2009年1月1日から2024年12月31日までの対象期間中に当院で施行された血液培養検査が陽性となり、治療を受けた患者さんを対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 当院では、主治医の先生が血流感染症などの重症感染症を疑った場合に、血液培養検査を行うとともにすぐに感染症科にコンサルトしてもらえよう、2012年9月より24時間365日対応可能なホットラインを設け、早期より支援を行なっております。また、2018年4月より抗菌薬適正使用支援チームを組織し、抗菌薬適正使用支援プログラムの一環として血液培養が陽性となった患者さんに関しては全例支援を行なっております。感染症科および抗菌薬適正使用支援チームによる活動によって、対象となった患者さんの治療成績や治療費の面でどのように貢献できているかを知ることが目的です。</p> <p>【研究の方法】 診療録を用いて対象となった患者さんおよび菌の情報を解析します。</p> <p>【研究期間】 2019年11月30日から2025年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 関連学会での発表および関連雑誌への論文投稿</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	研究対象者の年齢、性別、臨床経過、転帰、治療費などを調査します。調査内容は個人が特定されないよう匿名化し、調査項目をあらかじめ作成された電子ファイルに記入します。匿名化された情報は、パスワード入力要のパソコンで管理し、漏洩しないよう十分配慮いたします。なお、このパソコンは常に施錠されている富山大学附属病院 感染症科医局で厳重に管理します。本研究においては人体から取得する試料はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 教授 山本 善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 教授 山本 善裕
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7246 FAX 076-434-5018 E-mail kawasuji@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系 感染症学講座 川筋 仁史</p>